

山梨県立文学館の基本理念

○設置目的（山梨県立文学館設置及び管理条例）

文学に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。

○求められる基本的機能（山梨県立文学館構想策定懇話会提言）

- 1 郷土に根ざした文学を展望する機能
- 2 本県に関わらず広く文学全般を展望できる機能
- 3 文学に関わる研究や創作の場を提供する機能

○目指すべき方向性

◇知識を深める文学館

文学資料の収集と公開、常設展や多彩な企画展の開催、学校への支援、様々な教育普及事業の展開等により、生涯にわたり文学に関する知識を深め、豊かな感性と知性をはぐくむことができる文学館。

◇発見できる文学館

山梨出身・ゆかりの文学者や山梨が描かれた文学作品を中心とした展覧会や講演会の開催等により、山梨の人情、風土、歴史等を再発見することができる文学館。

◇楽しめる文学館

絵画や映画等に関連した視覚に訴える企画や子ども向け企画など、多種多様な事業の実施により、「芸術の森公園」の恵まれた自然の中で、幅広い層が文学に親しみ、参加し、楽しむことができる文学館。

◇意欲をかき立てられる文学館

著名作家や文化人の講演会の開催、館報や研究紀要等の発行、やまなし文学賞の推進等により、文学に関する研究や文学作品の創作等に意欲をかき立てられる文学館。

◇未来へつなげる文学館

文学資料を適切な環境で保管し、後世に伝えるとともに、県民や有識者と協働し、学校や地域、他の施設とも連携する中で、各種事業を展開することにより、文化を未来へつなげることができる文学館。